



としょかんだより

令和7年4月

第1号

牡丹山小学校図書館



にゅうがく

しんきゅう

入学・進級おめでとう！



新学期がはじまりました。みなさんはこれまでも、本を読んでワクワクしたりドキドキしたり、感動したり発見したりして、本の世界を楽しんだことでしょう。そういった読書の体験は、みなさんの心の栄養となってくわえられていきます。素晴らしいことです。今年もまた、本の世界と図書館での時間を楽しみましょうね！

4月10日(木)から本の貸出がはじまりました

4月のはじめの図書館の時間に「図書館のやくそく」「本のとりあつかい方」などをみんなで確認しています。1年生は学校生活に慣れてから貸出を始めます。



本をたいせつにしよう



しずかにしよう



あとしまつをしよう

おうちの方へ（お願い）

本を入れるバッグの中に、水よけ用のビニール袋を1枚ご用意ください。スーパーの袋でも構いませんが、厚手のビニールのショップ袋や100円ショップで販売しているビニールの巾着が丈夫で破れにくいのでおすすめです。

ビニール袋は本を持ち帰る時の雨よけになります。また、校内では給食や絵の具等をこぼした時にも本を汚れから守るのに役立ちます。

ご準備よろしくお願いします。

バッグに1枚
ビニール袋！

こんげつ 今月のテーマ「春の本」



『たけのこなんのこ』

ほん ばんごう
本の番号：きいろ ㊦



ニョキニョキと春になるとでてくる「タケノコ」。
じつは、「竹」の「子ども」という意味なのです。

この本は、1日に1メートル近く、ぐんぐんと成長するタケノコのようなすを、連続の写真やしかけページで見ることができます。すごいパワーですよ！

『桜守のはなし』

佐野 藤右衛門／作、本の番号：620 さ

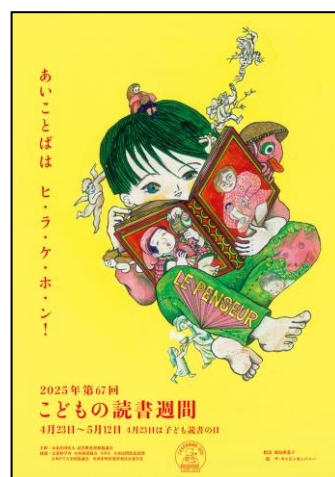


「桜守」と呼ばれる人がいます。全国を歩き回って桜を調査したり、傷ついた桜の手当てをしたりする人たちです。その桜守である佐野さんが、桜のいのちをつなぐとはどういうことかを子どもたちに語りかける写真絵本。ページいっぱいに広がるピンクの桜が美しい本です。

4/23(水)から 5/12(月)は「こどもの読書週間」

「こどもの読書週間」は、子どもたちにもっと本を！との願いからはじまりました。今年の標語は「あいことばは ヒ・ラ・ケ・ホ・ン！」

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さんなどでは、さまざまな行事が行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。



保護者向け

としょかんだより



成長期の子どもたちがごく自然に物語に触れて、よい本にめぐりあい、幸せな読書の思い出をもつことができるような図書館でありたいと思います。

今年度もどうぞよろしく願いいたします。

(司書 村上美紀子)